

「対話的な学び」の視点の充実に向けて（国語科）

他教科同様、対話による学び合い等は、これまでの学習過程を踏まえて、また、今後の学習への見通しを持ちながら計画的に行えるよう、指導計画の見直しが必要ね。国語科における「対話的な学び」の視点について改めて確認しておきたいわ。



国語科における「対話的な学び」の実現に向けて

例えば、子供同士、子供と教職員、子供と地域の人が、互いの知見や考えを伝え合ったり議論したり協働したりすることや、本を通して作者の考えに触れ自分の考えに生かすことなどを通して、互いの知見や考えを広げたり、深めたり、高めたりする言語活動を行う学習場面を計画的に設けることなどが考えられる。

中央教育審議会答申（平成28年12月）より

（※太字、下線等は加筆）

つまり、学習活動に制限があっても、言語活動を通して考えを広げ深めることを大切に考えていく必要があるのね。このような状況の中、「言葉による見方・考え方」を働かせ（※）、国語科で育成を目指す資質・能力を身に付けさせるにはどのようなことを大切にしながら進めていくとよいかしら。



※「言葉による見方・考え方」を働かせるとは、児童（生徒）が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。

（小学校（中学校）学習指導要領解説 国語編）より

（※太字、下線等は加筆）

A 話すこと・聞くこと



「話すこと・聞くこと」は、子ども同士が対面できないと学習活動が難しいのでは…。



「対話的な学び」の実現に向けて、授業展開においては、実際の対話だけでなく、話題の設定や情報の収集、構成の検討等、一人一人の思考を大切にしたいわ。



今はペアやグループ等の活動が難しいけれど、今後の学習への見通しを持ちながら、今、押さえるべき指導事項を確認しておこう。

例えば、「構成の検討、考えの形成（話すこと）」の学習過程では…



子ども一人一人の「話したい！伝えたい！」という気持ちを高めながら、相手に伝わるように話すことができるよう、指導事項を踏まえて、話の構成を考える場も大切にしよう。

「話すこと・聞くこと（指導事項より）」
イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。（第3学年及び第4学年）



何を中心に話そうかな。
体験したことをもとに、
分かりやすく伝えたいな。

発表原稿をもとに、助言等を書いて伝え合うことで、新たな気づきが自分の考えを広げ深めることにつながりそうだな。助言等の観点は指導事項を押さえることが大切ね。



例えば、「表現、共有（話すこと）」「構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）」の学習過程では…

【(例) タブレットやビデオ等で撮影した映像をもとに、考えを広げ深める。】



ビデオ等で撮影した発表等の様子を見ることで、表現の工夫について、皆で考えることができそうだな。



どのような視点で話を聞くのか、ねらいや目的を明確にすることが、新たな気づきにつながりそうだな。

例えば、感想等をメモや付箋紙に書いたり、パソコン等に入力して伝えたりするなど、ビデオ等を見た後のやり取りも大切にしたいわ。

例えば、「話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）」の学習過程では…



話し合うことについては、どのようなことを大切にしながら学習を進めるとよいか。



話し合うことの指導事項から、各学年のつながりを確認し、どのような力を身に付けさせるのかを明確にしよう。

(小1・小2) オ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

(小3・小4) オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

(小5・小6) オ 互いの立場や意図を明確にしなが^ら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

(中1) オ 話題や展開を捉えなが^ら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

(中2) オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。

(中3) オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

「小学校（中学校）学習指導要領解説 国語編」より

今後のグループ等での話し合いにつなげるためにも、全体での話し合いの場を大切に、子どもたちの言葉を引き出し、受け止め、全体へ広げるなど、教師のコーディネートが進行のモデルにもなるわ。



【そのために、例えば…】

① 話し合うことの目的や考える視点を子どもたちと共有しよう。

- 話し合うことを通して、どのような力を身に付けるのか、子どもたちと学習のゴールを共有しよう。
- 一人一人が自分の考えを持って話し合うことができるように考えを書くなどの学習過程も大切にしよう。



② 教師が聞き方のよいモデルを示そう。

- 子どものつぶやきに耳を傾け、話し合いへつなげていこう。

(教師の位置から遠い座席の子どものつぶやきも受け止め生かすことができるよう、教室全体に目を配り、子どもたちの発言等を大切に受け取りながら話し合いへつないでいこう。)

(「もう一度ゆっくり聞かせて。」など、聞き方を具体的に示すこともよいモデルとなりますね。)

③ 話し合いにおける大切なやり取りの言葉等を使用する効果を実感させよう。

- 指導事項を踏まえ、子どもの発言から大切な言葉に着目させ、学びを共有しよう。

(教師が実際に使用することで、その表現の効果を実感させることもできますね。)



なるほど。
たしかにそうだね。



ぼくの考えも〇〇
さんと似ていて…。



〇〇さんの考えを
聞いて、思いついた
のだけど…。

④ 子どもの言葉を受け止め、全体へつなげていこう。

- 話し合う目的に応じて、コーディネートを工夫しよう。
(考えを「出し合う」「まとめる」「確かめる」「比べる」など。)
- 子どもたちが、考えを広げ深めることができるような問いかけ等を工夫しよう。
(「理由や根拠を尋ねる」「聞き返す」「揺さぶる」「共通点や相違点」など。)

参考:R2 下地区学校教育の重点「学習指導(言語活動の充実を図るために)」

⑤ 話し合うことにおけるポイント等を可視化し、振り返りにつなげよう。

- 話し合いにおける「話すこと・聞くこと」のポイントを子どもの言葉でまとめることができるように板書等を工夫しよう。



話し合いで効果的だった表現の仕方、話し方や聞き方の工夫等、学んだことをまとめておこう。

B 書くこと

例えば「構成の検討」「考えの形成、記述」の学習過程では…

【(例) 教師のモデルを教材化して示すことで、子どもの思考を促す。】



教師が手直しの必要な例文を提示するなど、モデルを示して、書き方のポイントに気付かせる工夫もできそうだな。

指導事項を踏まえて、書き方のポイントを子どもたちと考えることが大切ね。それが、評価の観点にもつながるわ。



例えば「推敲」「共有」の学習過程では…



ペア等で話すことが難しいことを踏まえ、書いたものを読み合い、助言や感想等を付箋紙に書いたり、パソコン等に入力したりして、考えを書いて伝えることもできそうだな。互いの文章のよいところを見付けることを通して、自分の表現に生かすことができるようにしていこう。

【推敲の例】



書くことは、考えることでもあるわ。思考の過程を適切に見取り、個に応じた指導・支援につなげていかなくては。



C 読むこと



読むことにおいても、「対話的な学び」を実現するためには、まずは、一人一人が自分の考えを持てるようにすることが大切だな。



【そのために、例えば・・・】

- 読む目的や読むための視点を子どもたちと共有しよう。

(子どもたちが「読みたい! 知りたい! 考えたい!」と思えるような導入の工夫や、目的意識を明確にして教材と向き合えるような学習課題の設定も大切ですな。)

- 自分の考えを持つために、思考するための方法 (例えば「比較する」「選択する」「言葉を手がかりにして考える」など) を示すことやこれまで身に付けてきた方法から自分で選択できるような問いかけ等も工夫していこう。

この表現が〇〇だったらどうだろう。

なぜ主人公は最後に〇〇のような行動をとったのだろう。



- 読むことを通して、先哲である作者(筆者)と向き合うこともできるように、資料等を十分に準備したり、学級文庫を充実させたりするなど、学習環境を整えよう。

- 自分の考えを整理したり確認したりできるよう、読むことを通して考えたこと等をノートに書いてから話合いにつなげるなど、一人一人の考えを表出させる場を大切にしよう。
(学習状況を評価し、指導や支援につなげることもできますね。)

- 板書や掲示等の工夫、ICTの活用等を図り、感想や意見等を可視化して比較するなど、自分の考えを広げ深めることができるような学習活動を大切にしよう。

学習活動に制限がある中、対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面をどこに、どのように設定するかといった視点での授業改善や指導計画の見直しはとても重要です。これからの学びを見据えながら、今できることを大切に、日々の授業改善を進めていきましょう。今後も、カリキュラム・マネジメントを生かし、教科等横断的な学びを充実させるなど、国語科での学びを他教科等と関連させながら、学びの習得や活用を図っていきましょう。

